

心臓力テ－テル (冠動脈)

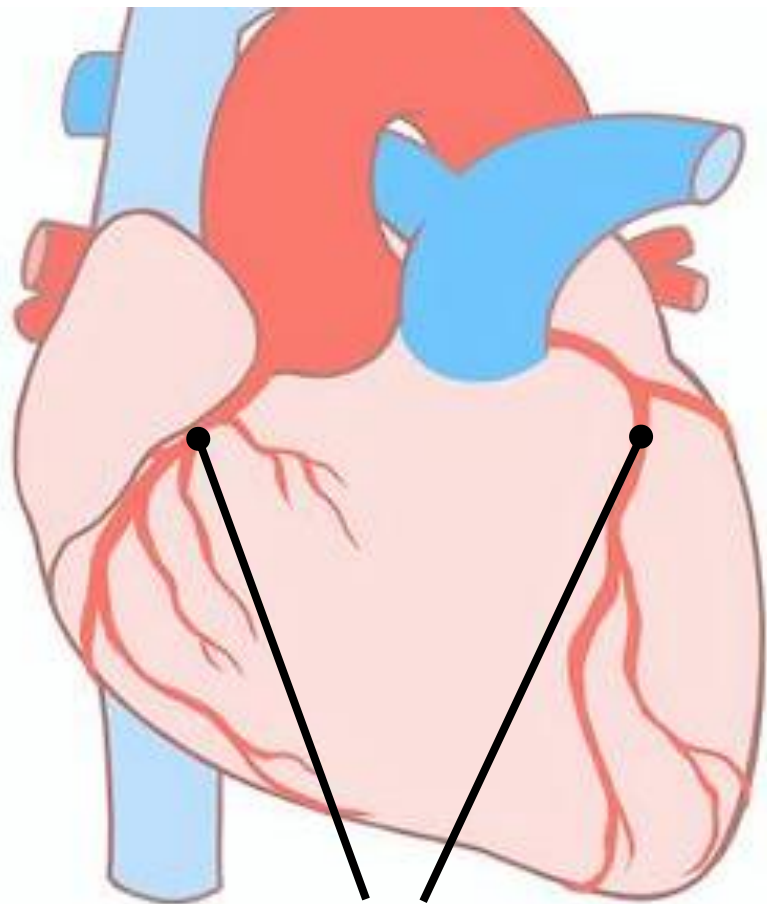
笹生病院 循環器内科 患者様資料

カテーテルとは

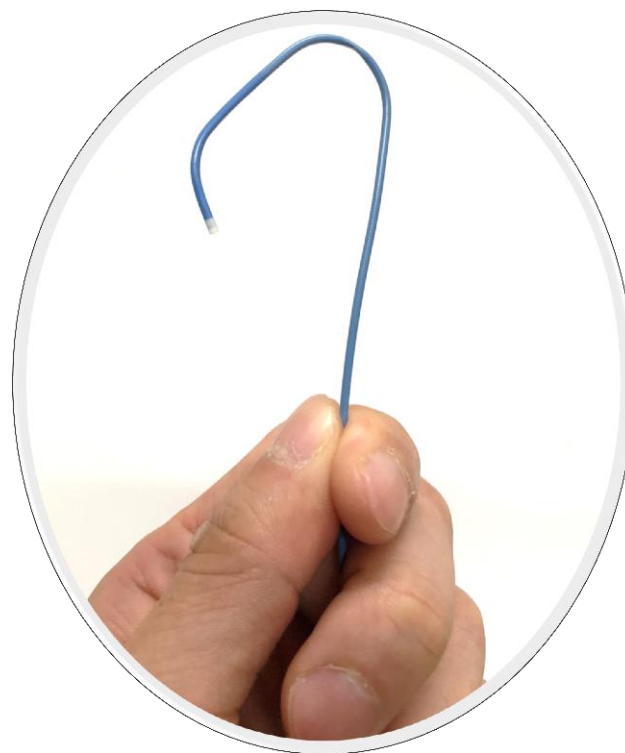
- 医療用の管（くだ）のことです
- このカテーテルを用いて行う検査をカテーテル検査、治療をカテーテル治療と呼びます

冠動脈のカテーテル検査(冠動脈造影)

冠動脈疾患(狭心症,心筋梗塞)を調べる検査です

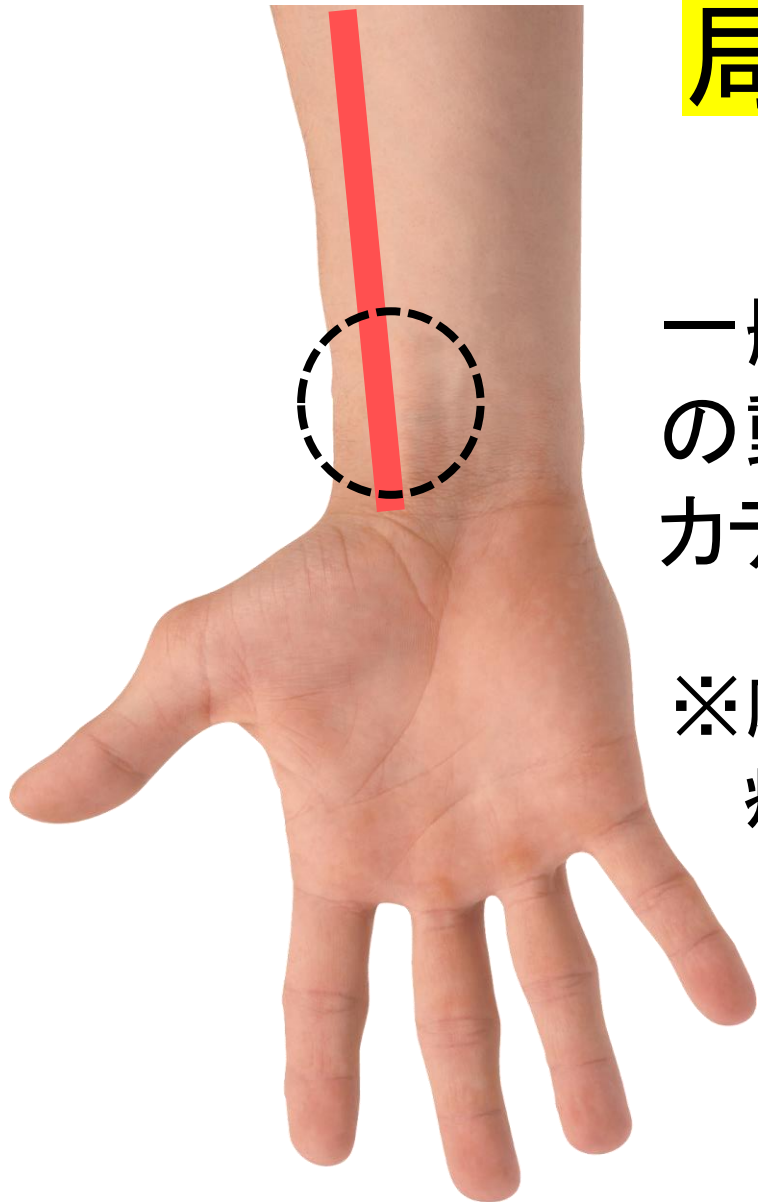


冠動脈



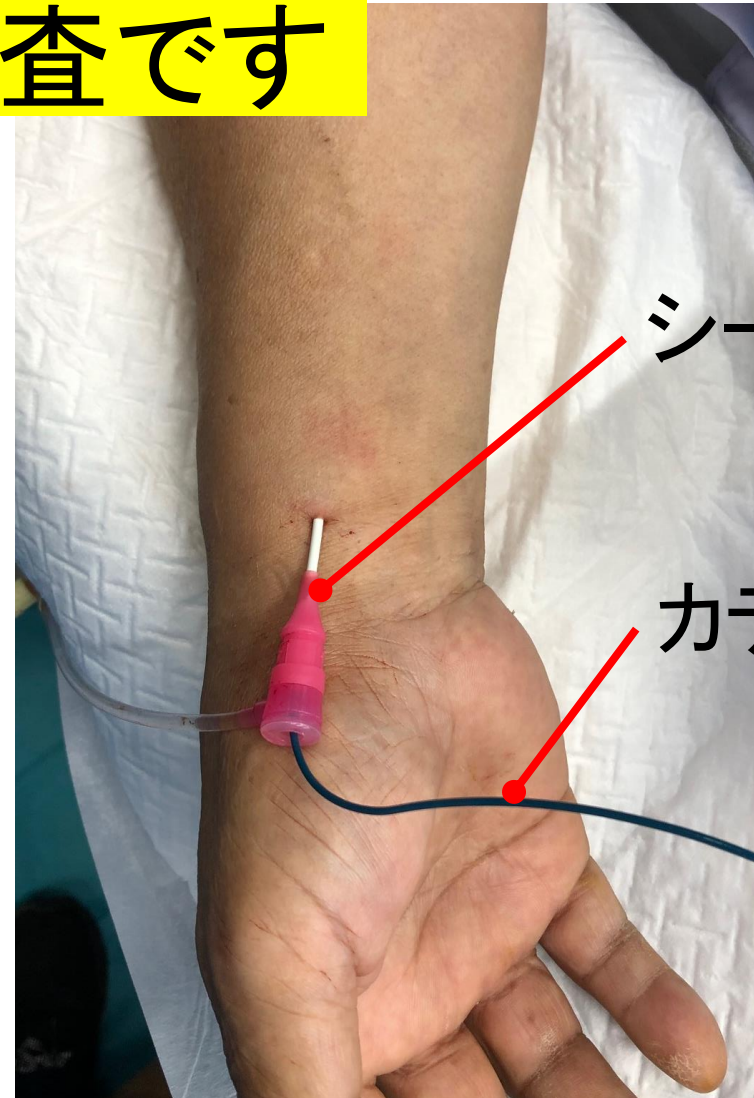
直径1.5mm程度
のカテーテル

局所麻酔の検査です



一般的には手首
の動脈から
カテーテルを挿入

※麻酔後にほとんど
痛みは感じません



〈実際の写真〉

カテーテル検査の様子

血管撮影装置



モニター

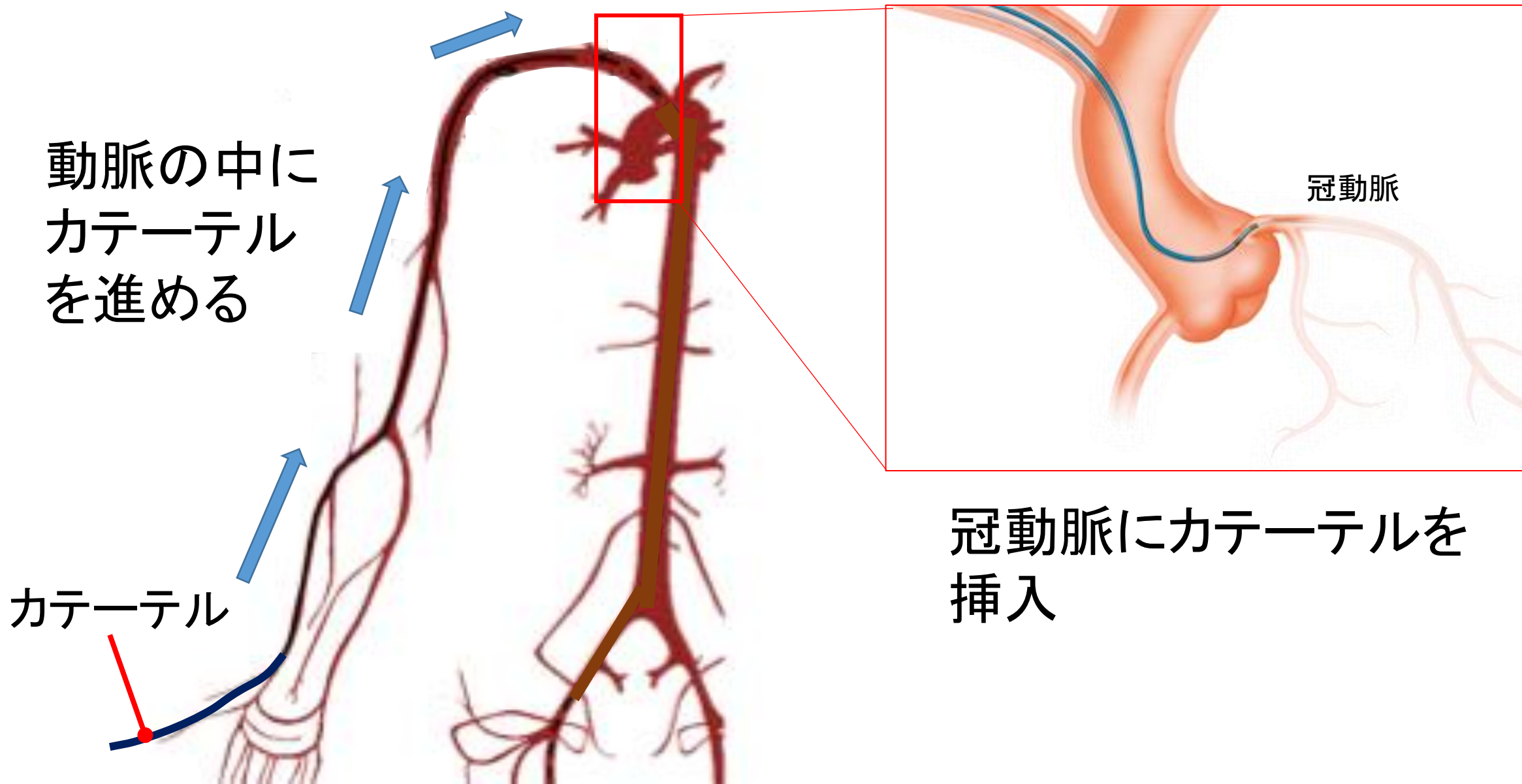
造影剤を注入する装置

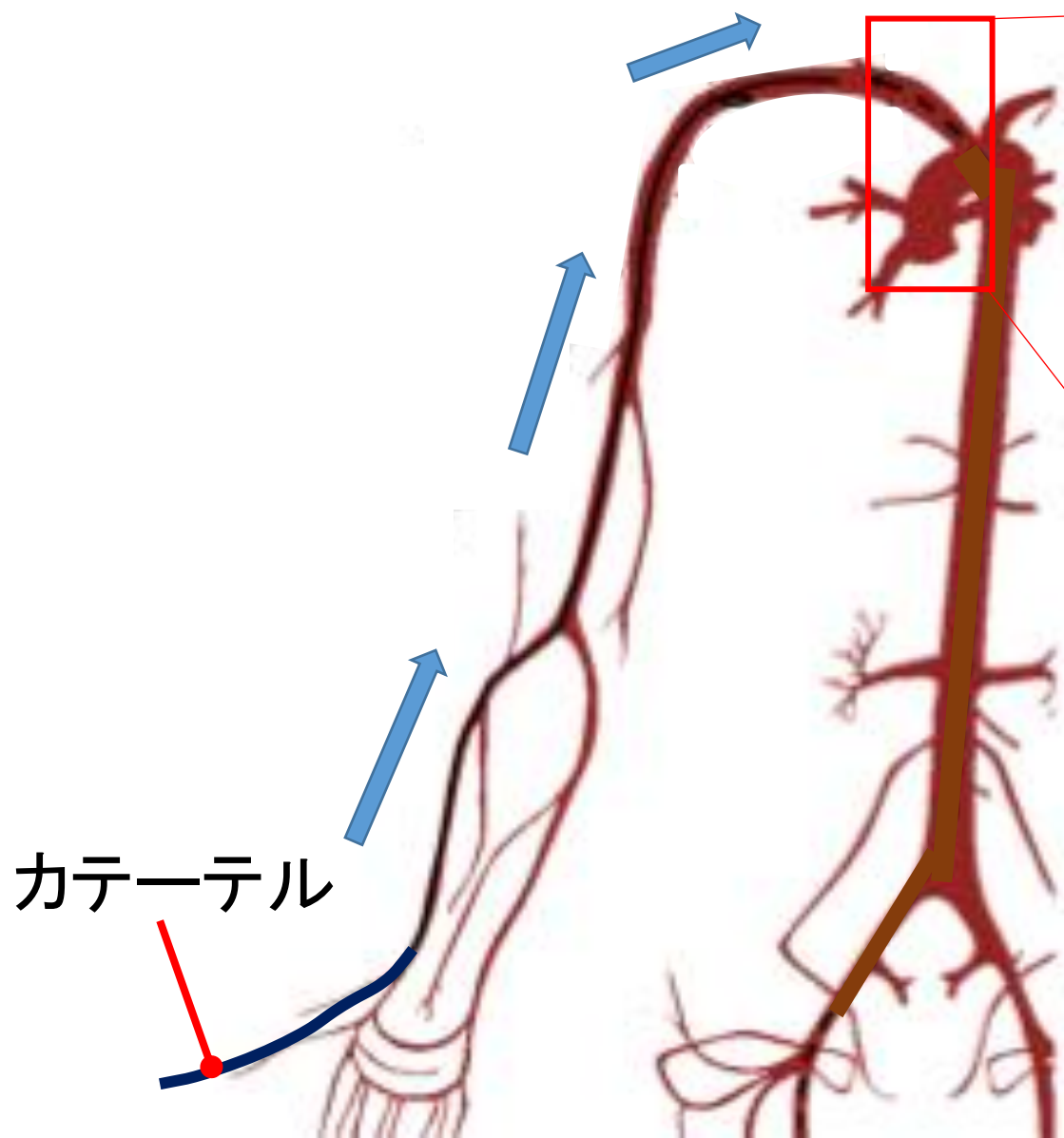
動脈の中に
カテーテル
を進める

カテーテル

冠動脈

冠動脈にカテーテルを
挿入





撮影装置で確認しながら
カテーテルを操作します

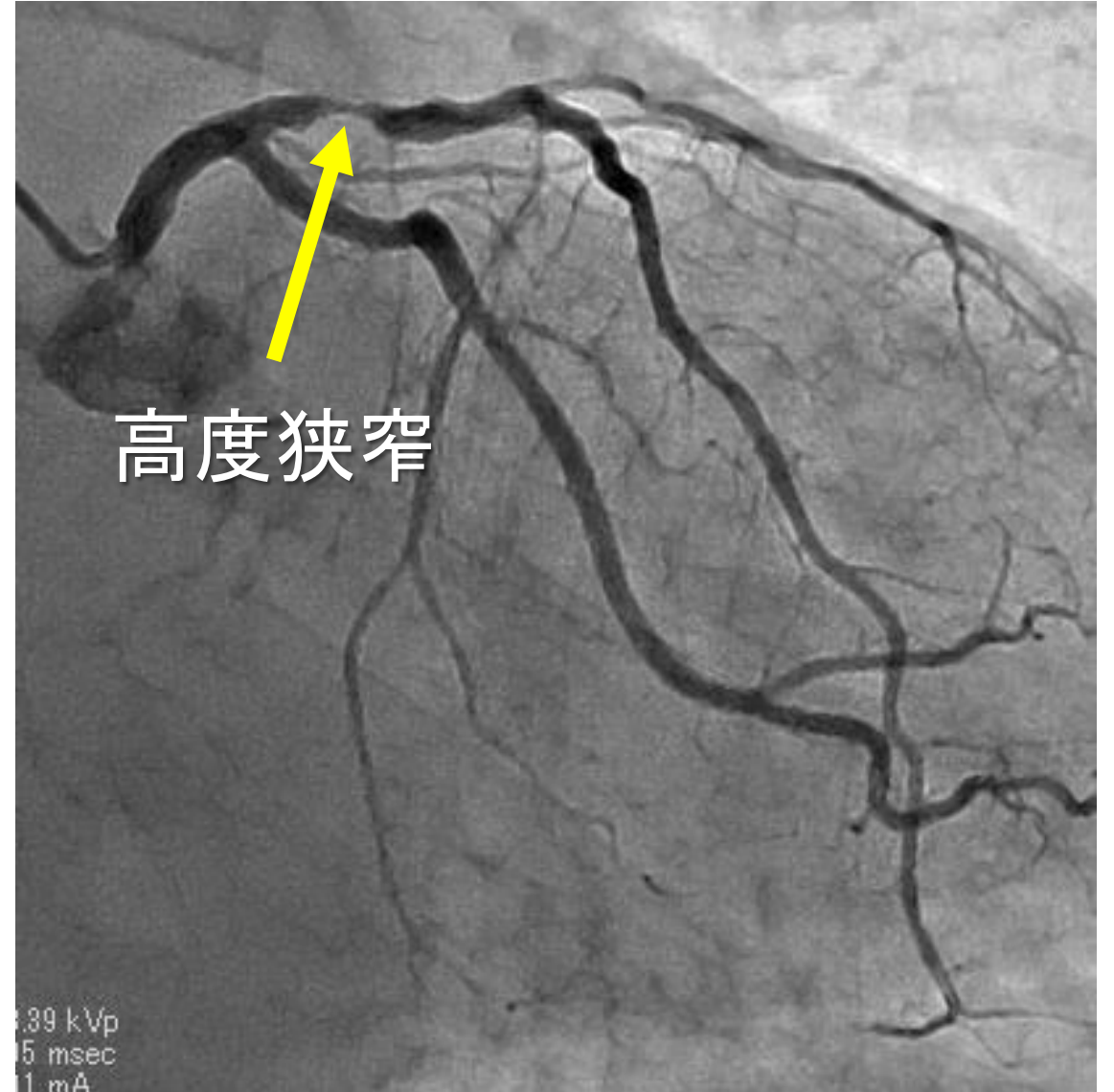
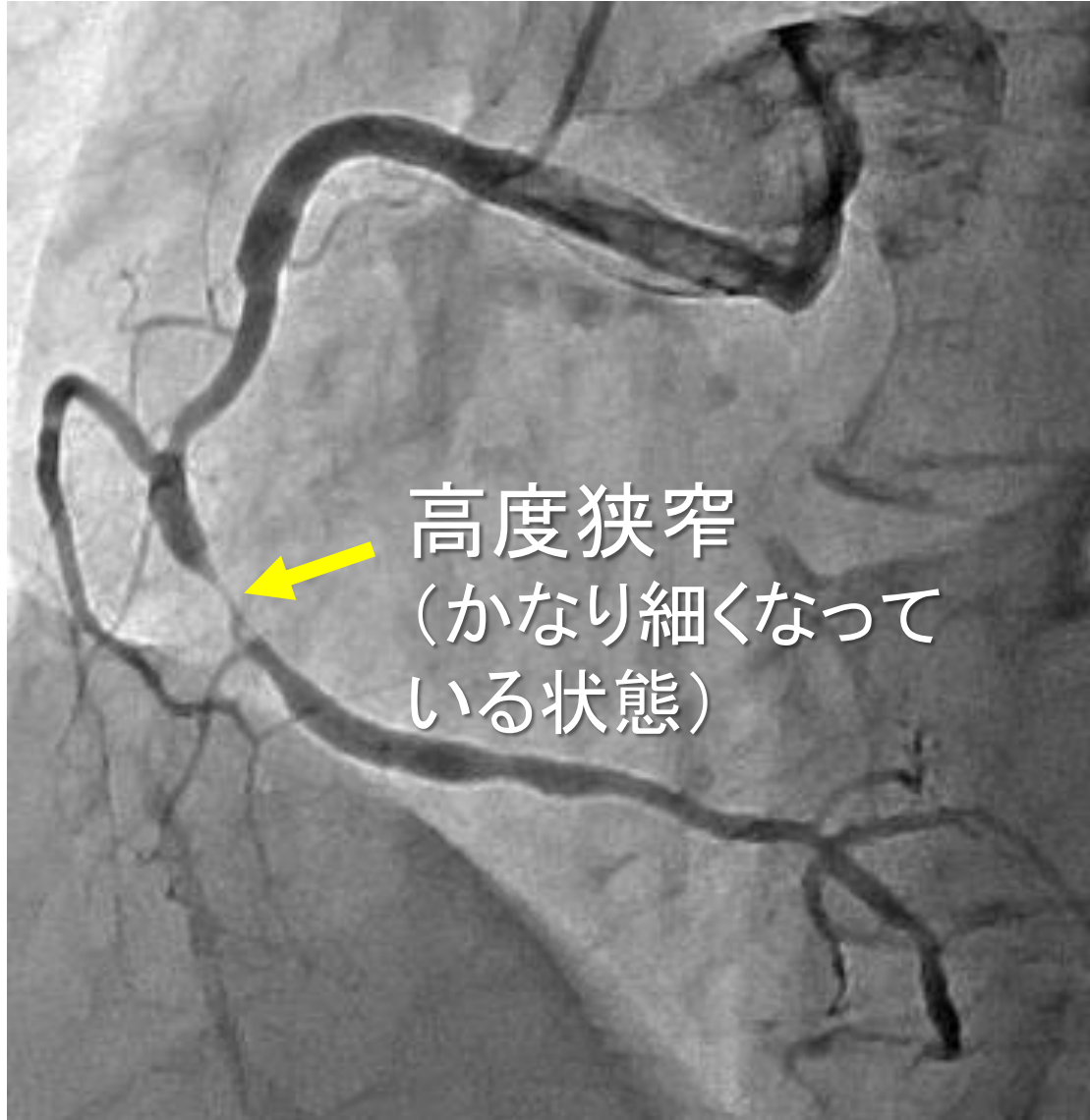


冠動脈

カテーテル

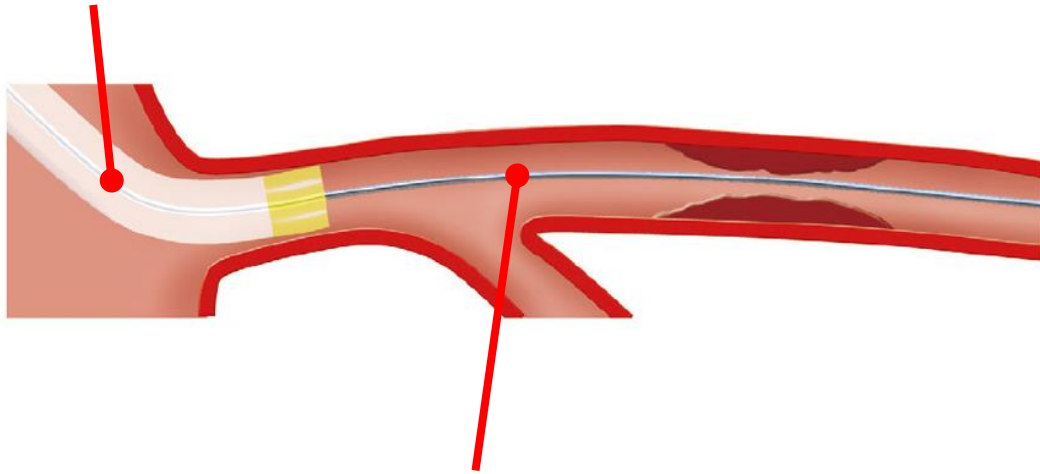
カテーテルを用いて、冠動脈に造影剤を注入して撮影します

狭心症の冠動脈



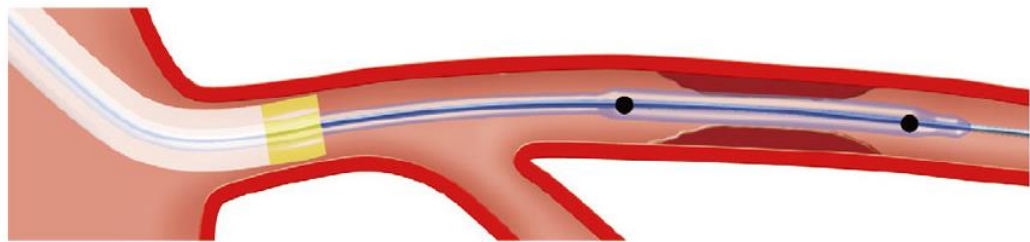
冠動脈カテーテル治療 (経皮的冠動脈形成術)

カテーテル

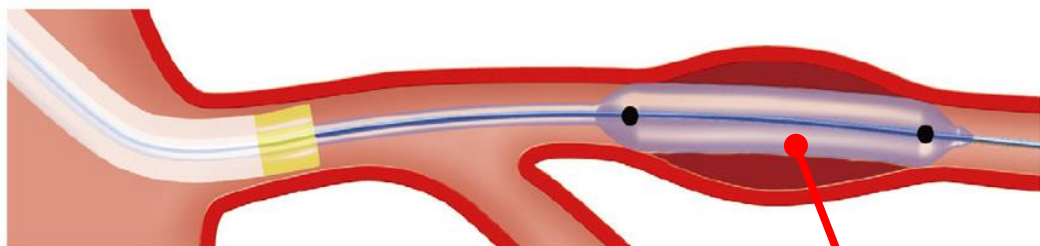


ワイヤー(約0.4mm)

カテーテルの中から冠動脈
に器具を進めます。
まず冠動脈の中にワイヤー
を通過させます。



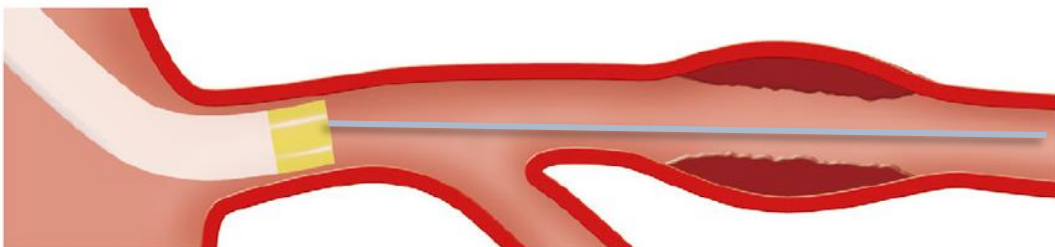
ワイヤーを軸に、バルーン
カテーテルを進めます



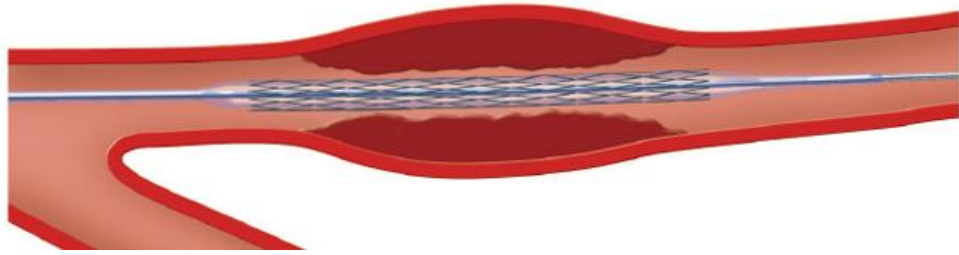
バルーンカテーテルで狭窄
部位を拡張します



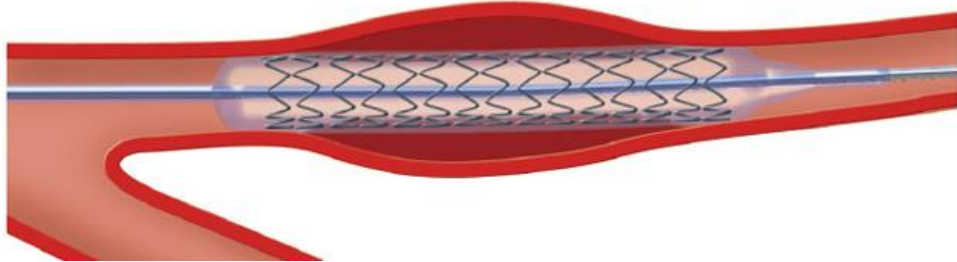
バルーンカテーテル



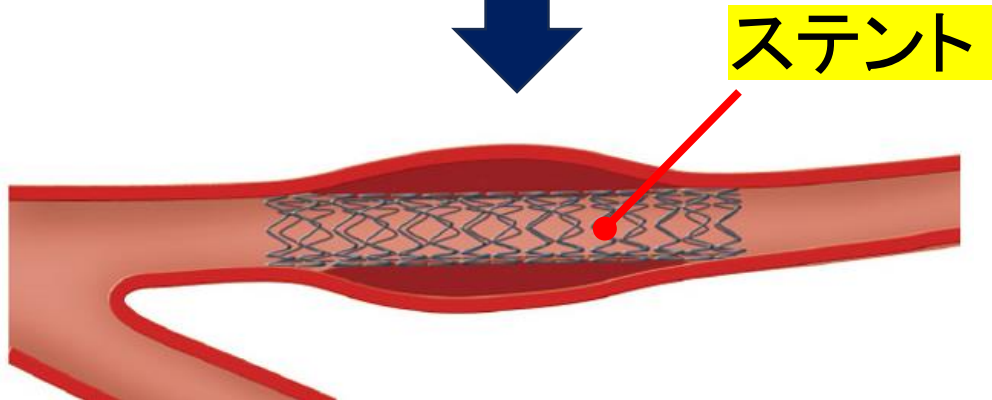
一旦バルーンカテーテルを
回収します



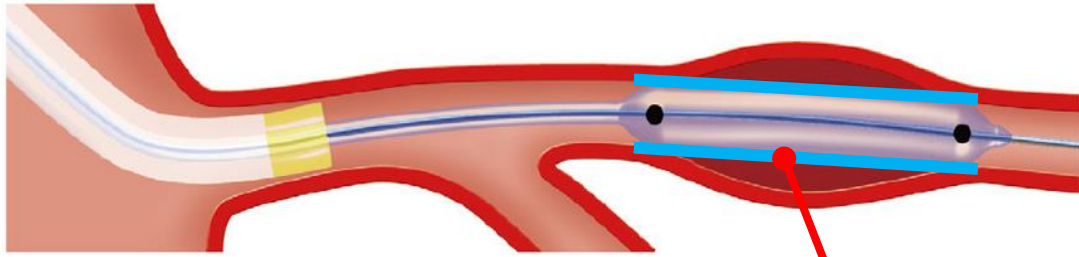
バルーン治療した部位に
ステントを持ち運びます



ステントを拡張します



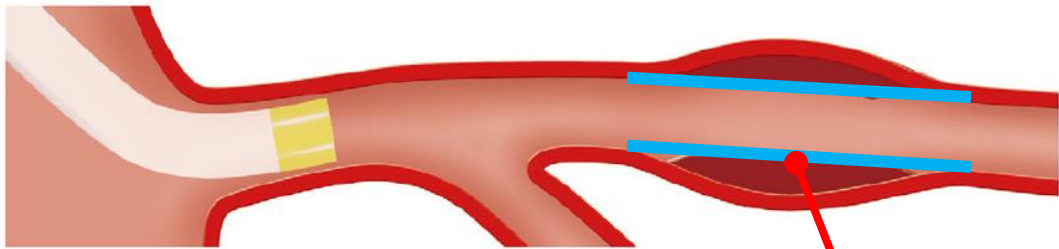
ステントが冠動脈内に留置
され、治療が終了します



ステント以外の治療として
薬剤溶出性バルーンがあります。



薬剤溶出性バルーン



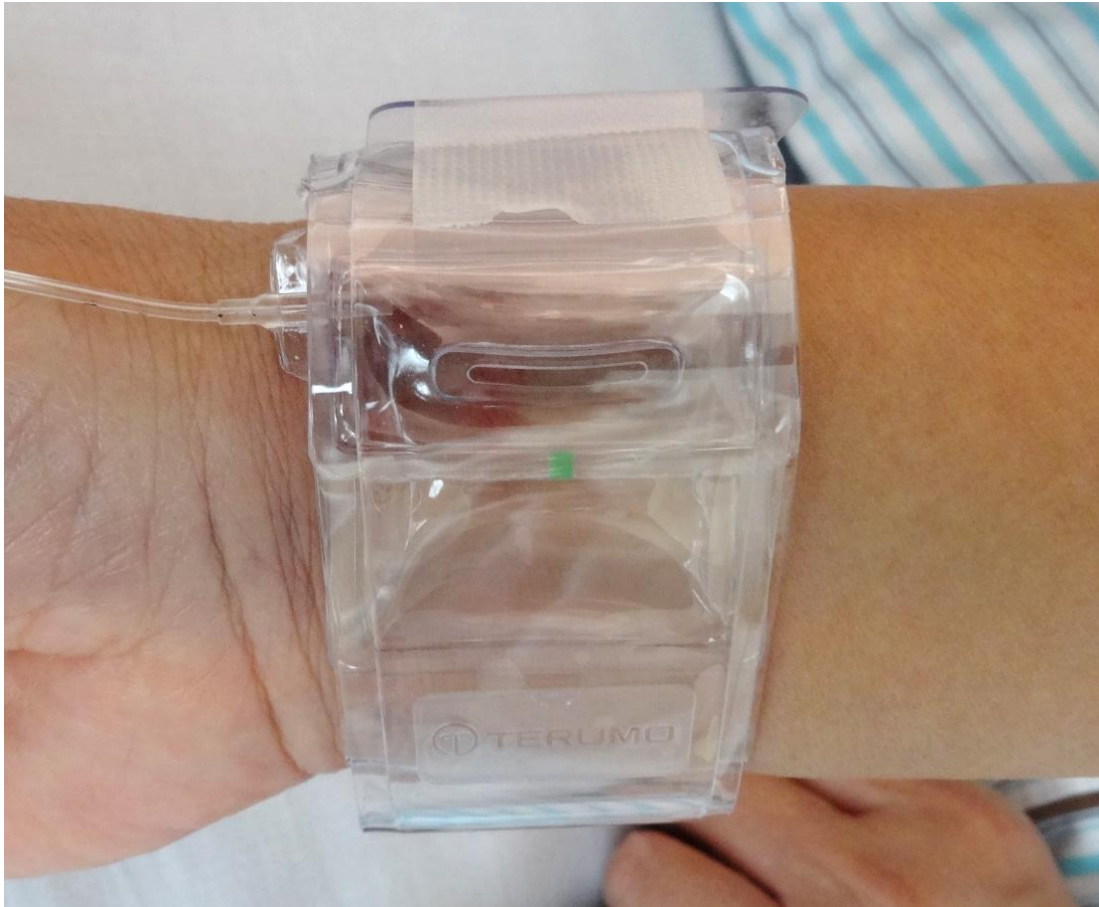
薬剤溶出性バルーンでは
薬が冠動脈内に塗られ、
治療が終了します。

薬剤

ご自身が受けたカテーテル検査/治療 を正しく理解されていますか？

- ✓ わたしはカテーテル
☐検査 ☐治療 を受けました。
- ✓ 治療を受けた冠動脈は
☐左冠動脈 ☐右冠動脈 ☐左右両方 で
- ✓ 治療内容は
☐ステント ☐薬剤溶出性バルーン ☐両方 です。

検査/治療後の止血



リストバンドで圧迫して止血します。
痛くはないですが、親指に少し痺れを感じる場合があります。
通常5～6時間でリストバンドを外します。リストバンドを付けたまま歩行や食事は可能です。
(カテーテルの終了する時間によっては翌朝に外します)

止血用のリストバンド

カテーテル検査/治療の所要時間

➤ 検査(冠動脈造影)

約15分

(カテーテル室入室～退室 約30分)

➤ 治療(経皮的冠動脈形成術)

約60分

(患者さんによって異なり、30分で終わることもあれば、2時間以上かかることもあります)

患者さんからよくある質問を心臓力
テーテルQ&Aにまとめています。
ご参照ください。